

離散選択モデル: 演習編

応用社会科学RAブートキャンプ

講師: 遠山祐太 (早稲田大学)

最終更新: 2024-08-24 23:28:01

演習課題

課題 1 : 新データでの再現

- 皆さんに回答してもらったきのこ・たけのこサーベイの結果が `data/KinokoTakenokoSurvey_RABootcamp2024.csv` にあります。
- このデータを用いて、講義パートで行った分析(`mlogit`での推定)を再現してください。
 - ひとまず多項ロジットモデル(消費者属性あり・なし両方のバージョンで)に取り組んで下さい。
 - 課題 2 が終わって余裕があればランダム係数ロジットも試してみましょう。
- コメント : データは最低限のクリーニングをしたもの。
 - 変数名は講義パートのデータ(`data/KinokoTakenokoSurvey_IOSpring2024.csv`)と同じ
 - 変数の中身は、講義パートと若干異なっている部分があるので要注意。
 - データ共有についての不同意者の回答を落としている。

課題 2 : 支払い意思額の計算・価格弾力性の計算

- 以下では消費者属性なしのモデル+ブートキャンプデータで考えます。
- 推定結果に基づき、きのこの山・たけのこの里への支払い意思額を求めてください。
- きのこの山とたけのこの里の価格が両方200円だったときの、きのこの山の自己価格弾力性を計算してください。